

金属箔の疲労試験

板厚が数十 μm からの金属箔について、疲労特性評価が可能です。

特徴

金属箔の引張疲労特性の評価ができます。

最適な試験片加工方法を選択して、試験片端面の機械加工の影響を排除します。

試験片のつかみ部補強、試験機へのチャッキング精度確保、加振周波数の適正化などにより、精度の高い試験が可能です。

板厚70 μm ～、荷重10～500Nの範囲で評価ができます(詳細はお問い合わせください)。

箔特有の留意点

(1) 試験機、試験条件

- ・ 荷重分解能の高い試験機による試験(写真1-1)
- ・ 試験片の剛性に合わせたチャッキング治具の選択と加振周波数の適正化

(2) 試験片

- ・ 最適な加工方法(機械的加工、物理的加工、化学的加工等)の選択により、寸法精度の高い試験片を製作
- ・ 加工面性状の最適化(バリの除去等)
(写真2)

(3) 試験片の保持

- ・ タブ板の接合・接着によるつかみ部の補強
- ・ つかみ部の滑り防止
(写真1-2)



写真1-1 疲労試験機外観



写真1-2 つかみ部外観

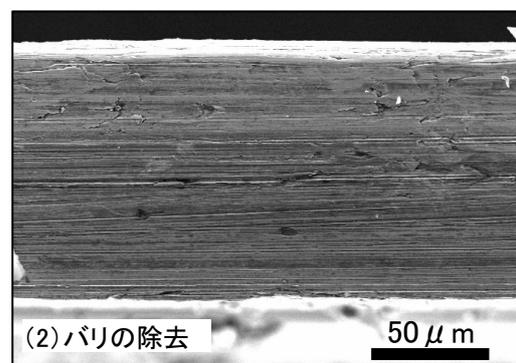
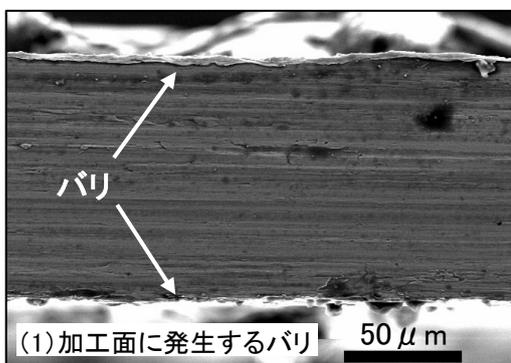


写真2 加工面の性状